

管理番号	2024-034-1
------	------------

研究内容の説明文

説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	献血者が再び献血会場に来場する理由に関する研究 (ドナーの再来に寄与する因子の行動分析学および機械学 習を用いた探索)
研究期間	2024 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日
研究機関名	東京都赤十字血液センター
研究責任者職氏名	事業推進二部 副部長 難波寛子

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明	
1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等	献血できる年齢には上限があります。一方で令和 3 年に東京都内で輸血を受けた患者さんの 6 割以上が 70 歳以上でした。少子高齢化更に進むことが予測される今、輸血用血液製剤の原料血液を十分な量確保するためには、一度献血をした方に繰り返し献血をして頂く必要があります。献血者の再来を促すためには、何が再来を促進するのか、また、何か再来の妨げになっているのか明らかにする必要があります。 献血ルームや来場時の状況と再来との関連性を解析することにより、一度献血に来場された方に再度来場頂くためにはどうしたらよいか理解でき、献血者の皆様に再来して頂きやすい献血の環境を目指すことができます。
2 使用する献血血液等の種類・情報の項目	献血血液等の情報： なし 献血者の試料の種類： なし 献血者の情報： 2022 年度に最後に来場した東京都内の献血ルーム、当該献血ルームの情報、当時行っていたキャンペーン等の情報、依頼を受けてのご来場であったかどうか、ご来場いただいた時間帯、献血に必要なであった時間、献血時に副作用を生じたかどうか、今後開始する大規模アンケート調査により明らかになった再来に寄与する因子、および献血者ご自身の情報（献血者 ID、性別、年齢、既献血回数）。2023 年度に献血に来場されたかどうか。
3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名	《献血血液等を使用する共同研究機関》 該当なし 《献血血液等を使用しない共同研究機関》 ① 東京慈恵会医科大学：輸血部 准教授 佐藤智彦 ② 星槎大学： 大学院教育実践研究科 講師：三田地真実
4 献血血液等を利用又は提供を開始する予定日	2024 年 12 月 7 日

5 方法《献血者の試料・情報の使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析： ☒行いません。 ☐行います。

《研究方法》

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日の期間に東京都内の献血ルームで献血を頂いた方を対象として、2023 年度内に再来されたかどうかを検討します。2022 年度内に最後に来場いただいた際の献血ルームの情報、当時行っていたキャンペーン等の情報、依頼を受けてのご来場であったかどうか、ご来場いただいた時間帯、献血に必要であった時間、献血時に副作用を生じたかどうか、および献血者ご自身の情報（性別、年齢、既献血回数、身長、体重）に関して、翌年度の再来との関連を機械学習により特徴を見出し、見出された特徴につき共同研究機関の研究責任者と共同で献血行動との関連を考察します。

6 研究の対象とされることへの拒否について

ご自身の情報をこの研究に使用されたくないとお考えの方は、下記の方法でお申し出ください。情報使用不可のお申し出により、ご自身に不利益となることはありません。

7 上記 6 を受け付ける方法

下記の問い合わせ先に、2024 年 12 月 7 日までに情報の利用について拒否する旨を申し出ください。

所属	東京都赤十字血液センター
担当者	難波 寛子
電話	03-5272-3532
Mail	n-namba@kts.bbc.jrc.or.jp